

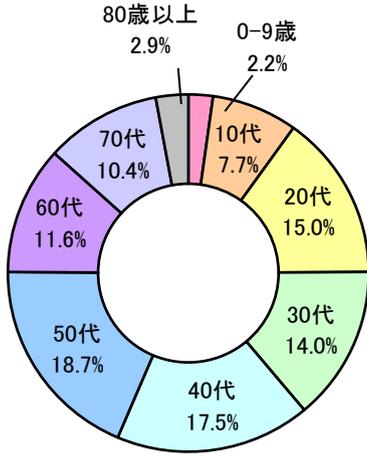
アラビアの道ーサウジアラビア王国の至宝

アンケート集計結果

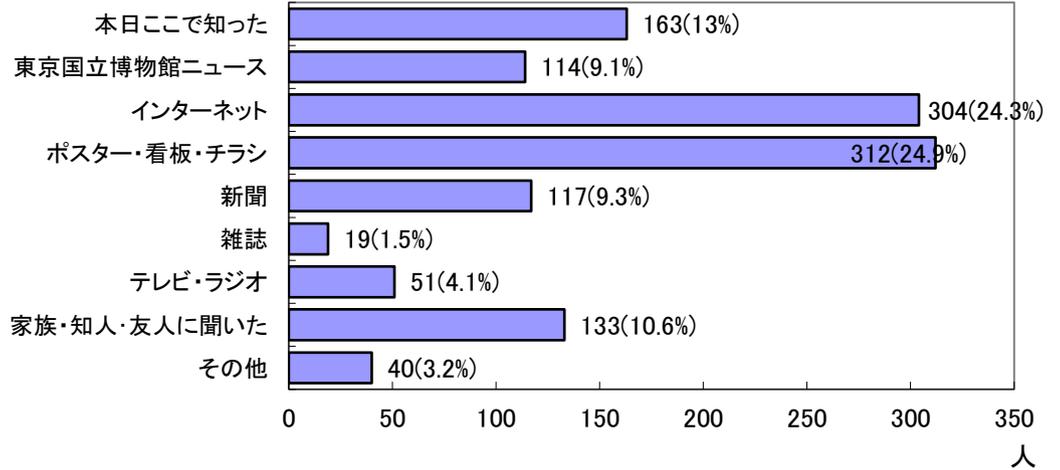
開催期間：平成30年1月16日（火）～5月13日（日）（99日間）

回答者数：998人（総入館者数：250,100人 アンケート回収率：0.4%）

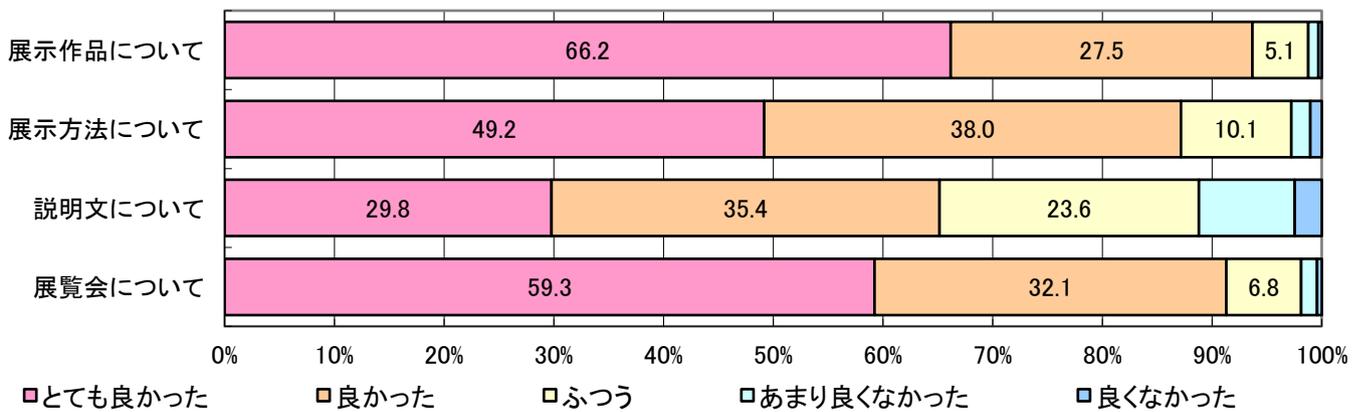
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・なじみの薄いアラビア世界の一端を知ることができた。
- ・発掘調査を維持していることに感謝したいと思った。
- ・文化が入り混じる様を実感でき感銘を受けた。
- ・会場前のアラビアテントで生活風景を体験できてよかった。
- ・観光で訪れることが難しい国のことを知れる良い機会だった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	1.4	0.4
説明文	8.7	2.5
展示方法	1.7	1.0
展示作品	0.9	0.3

(%)

古代より交易路が張り巡らされ、人々と諸文明が行き交ったアラビア半島。本展では、その躍動的な歴史と文化を示すサウジアラビア王国の至宝を日本で初めて公開しました。100万年以上前にさかのぼるアジア最初の石器、5000年前に砂漠に立てられた人形石柱、ヘレニズム時代やローマ時代に賑わった古代都市からの出土品、イスラームの聖地マッカ（メッカ）のカアバ神殿で17世紀に使われた扉、サウジアラビア初代国王の遺品（20世紀）など、400件以上の貴重な文化財をとおして、アラビア半島の知られざる歴史を紹介した本展には25万人を超える方々にご覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して91.3%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。その一方で「アラビア文字の書かれた作品に何と書かれていたか訳をつけて欲しかった」、「会場動線がやや複雑でどう進むのが分からなかった」などのご意見も寄せられました。

今後来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。